

1

1 神の子イエス・キリストの福音のはじめ。
 2 預言者イザヤの書に、「見よ、わたしは使をあなたの先
 につかわし、
 3 あなたの道を整えさせるであろう。
 4 荒野で呼ばれる者の声がする。
 『主の道を備えよ、
 5 その道筋をまっすぐにせよ』
 と書いてあるように、
 6 バプテスマのヨハネが荒野に現れて、罪のゆるしを得さ
 せる悔改めのバプテスマを宣べ伝えていた。
 7 そこで、ユダヤ全土とエルサレムの全住民とが、彼のも
 とにぞくぞくと出て行って、自分の罪を告白し、ヨル
 ダン川でヨハネからバプテスマを受けた。
 8 このヨハネは、らくだの毛ごろもを身にまとい、腰に皮
 の帯をしめ、いなごの野蜜とを食物としていた。
 9 彼は宣べ伝えて言った、「わたしよりも力のあるかたが、
 10 あとからおいでになる。わたしはかがんで、そのくつ
 のひもを解く値うちもない。
 11 わたしは水でバプテスマを授けたが、このかたは、聖霊
 によってバプテスマをお授けになるであろう。」

9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから出てきて、ヨ
 ルダン川で、ヨハネからバプテスマをお受けになった。
 10 そして、水の中から上がられるとすぐ、天が裂けて、
 聖霊がはとのように自分にとって来るのを、ごらん
 になった。
 11 すると天から声があった、「あなたはわたしの愛する子
 わたしの心にかなう者である」。
 12 それからすぐに、御霊がイエスを荒野に追いやった。
 13 イエスは四十日のあいだ荒野にいて、サタンの試みにあ
 われた。そして獣もそこにいたが、御使たちはイエス
 に仕えていた。
 14 ヨハネが捕えられた後、イエスはガリラヤに行き、神の
 福音を宣べ伝えて言われた、
 15 「時は満ちた、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信
 ぜよ。」

1

16 さて、イエスはガリラヤの海を歩いて行かれ、シモン
 とシモンの兄弟アンデレとが、海で網を打っているの
 をごらんになった。彼らは漁師であった。
 17 イエスは彼らに言われた、「わたしについてきなさい。
 18 あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう」。
 19 すると、彼らはすぐに網を捨てて、イエスに従った。
 20 また少し進んで行かれると、ゼベダイの子ヤコブとその
 兄弟ヨハネとが、舟の中で網を繕っているのをごらん
 になった。
 21 そこで、すぐ彼らをお招きになると、父ゼベダイを雇人
 たちと一緒に舟において、イエスのあとについて行っ
 た。
 22 それから、彼らはカペナウムに行った。そして安息日に
 すぐ、イエスは会堂にはいって教えられた。
 23 人々は、その教に驚いた。律法学者たちのようにはな
 く、権威ある者のように、教えられたからである。
 24 ちようどその時、けがれた霊につかれた者が会堂にい
 て、叫んで言った、
 25 「ナザレのイエスよ、あなたはわたしたちとなんの係わ
 りがあるのです。わたしたちを滅ぼしにこられたので
 すか。あなたがどなたであるか、わかっていません。神
 の聖者です」。
 26 イエスはこれをしかって、「黙れ、この人から出て行け」
 と言われた。
 27 すると、けがれた霊は彼をひきつけさせ、大声をあげ
 て、その人から出て行った。
 28 人々はみな驚きのあまり、互に論じて言った、「これは、
 いったい何事か。権威ある新しい教だ。けがれた霊に
 さえ命じられると、彼らは従うのだ」。
 29 こうしてイエスのうわさは、たちまちガリラヤの全
 地方、いたる所にひろまった。
 30 それから会堂を出るとすぐ、ヤコブとヨハネとを連れ
 て、シモンとアンデレとの家にはいって行かれた。
 31 ところが、シモンのしゅうとめが熱病で床に就いてい
 たので、人々はさつそく、そのことをイエスに知らせた。
 32 イエスは近寄り、その手をとって起きると、熱が引
 き、女は彼らをもてなした。
 33 夕暮になり日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた者
 をみな、イエスのところに連れてきた。
 34 こうして、町中の者が戸口に集まった。
 35 イエスは、さまざまの病をわずらっている多くの人々を
 いやし、また多くの悪霊を追い出された。また、悪霊
 どもに、物言うことをお許しにならなかつた。彼らが
 イエスを知っていたからである。
 36 朝はやく、夜の明けるよほど前に、イエスは起きて寂し
 い所へ出て行き、そこで祈っておられた。
 37 すると、シモンとその仲間とが、あとを追ってきた。
 38 そしてイエスを見つけて、「みんなが、あなたを捜して
 います」と言った。
 39 イエスは彼らに言われた、「ほかの、附近の町々にみん
 なで行って、そこでも教を宣べ伝えよう。わたしはこ
 のために出てきたのだから」。
 40 として、ガリラヤ全地を巡りあるいて、諸会堂で教を宣
 べ伝え、また悪霊を追い出された。

1

40 ひとりのツアラアトの人が、イエスのところに願いにきて、ひざまずいて言った、「みこころでしたら、きよめていただけるのですが」。

41 イエスは深くあわれみ、手を伸ばして彼にさわり、「そうしてあげよう、きよくなれ」と言われた。

42 すると、ツアラアトが直ちに去って、その人はきよくなった。

43 イエスは彼をきびしく戒めて、すぐにそこを去らせ、ことうい聞かせられた、

44 「何も人に話さないように、注意しなさい。ただ行って、自分のからだを祭司に見せ、それから、モーセが命じた物をあなたのきよめのためにささげて、人々に証明しなさい」。

45 しかし、彼は出て行って、自分の身に起ったことを盛んに語り、また言いひろめはじめたので、イエスはもはや表立っては町に、はいることができなくなり、外の寂しい所にとどまっておられた。しかし、人々は方々から、イエスのところにぞくぞくと集まってきた。

2

1 幾日かたつて、イエスがまたカペナウムにお帰りになったとき、家におられるといううわさが立ったので、

2 多くの人々が集まってきた、もはや戸口のあたりまでも、すきまが無いほどになった。そして、イエスは御言を彼らに語っておられた。

3 すると、人々がひとりの中風の者を四人の人に運ばせて、イエスのところに連れてきた。

4 ところが、群衆のために近寄ることができないので、イエスのおられるあたりの屋根をはぎ、穴をあけて、中風の者を寝かせたまま、床をつりおろした。

5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の者に、「子よ、あなたの罪はゆるされた」と言われた。

6 ところが、そこに幾人かの律法学者がすわっていて、心の中で論じた、

7 「この人は、なぜあんなことを言うのか。それは神をけがすことだ。神ひとりのほかに、だれが罪をゆるすことができるか」。

8 イエスは、彼らが内心このように論じているのを、自分の心ですぐ見ぬいて、「なぜ、あなたがたは心の中でそんなことを論じているのか。」

9 中風の者に、あなたの罪はゆるされた、と言うのと、起きよ、床を取りあげて歩け、と言うのと、どちらがたやすいか。

10 しかし、人の子は地上で罪をゆるす権威をもっていることが、あなたがたにわかるために」と彼らに言い、中風の者にむかって、

11 「あなたに命じる。起きよ、床を取りあげて家に帰れ」と言われた。

12 すると彼は起きあがり、すぐに床を取りあげて、みんなの前を出て行ったので、一同は大いに驚き、神があがめて、「こんな事は、まだ一度も見ることがない」と言った。

13 イエスはまた海べに出て行かれると、多くの人々がみもとに集まってきたので、彼らを教えられた。

14 また途中で、アルパヨの子レビが取税所にすわっているのをごらんになって、「わたしに従ってきなさい」と言われた。すると彼は立ちあがって、イエスに従った。

15 それから彼の家で、食事の席についておられたときのことである。多くの取税人や罪人たちも、イエスや弟子たちと共にその席に着いていた。こんな人たちが大ぜいいて、イエスに従ってきたのである。

16 パリサイ派の律法学者たちは、イエスが罪人や取税人たちと食事を共にしておられるのを見て、弟子たちに言った、「なぜ、彼は取税人や罪人などと食事を共にするのか」。

17 イエスはこれを聞いて言われた、「丈夫な人には医者はいらない。いるのは病人である。わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである」。

2

18ヨハネの弟子とパリサイ人とは、断食をしていた。そこで人々がきて、イエスに言った、「ヨハネの弟子たちとパリサイ人の弟子たちが断食をしているのに、あなたの弟子たちは、なぜ断食をしないのですか」。

19するとイエスは言われた、「婚礼の客は、花婿と一緒にいるのに、断食ができるであろうか。花婿と一緒にいる間は、断食はできない。

20しかし、花婿が奪い去られる日が来る。その日には断食をするであろう。

21だれも、真新しい布ぎれを、古い着物に縫いつけはしない。もしそうすれば、新しいつぎは古い着物を引き破り、そして、破れがもっとひどくなる。

22まただれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れはしない。もしそうすれば、ぶどう酒は皮袋をはり裂き、そして、ぶどう酒も皮袋もむだになってしまう。(だから、新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるべきである)」。

3

7それから、イエスは弟子たちと共に海べに退かれたが、ガリラヤからきたおびただしい群衆がついて行った。またユダヤから、

8エルサレムから、イドマヤから、更にヨルダンの向こうから、ツロ、シドンのあたりからも、おびただしい群衆が、そのなさっていることを聞いて、みもとにきた。

9イエスは群衆が自分に押し迫るのを避けるために、小舟を用意しておくと、弟子たちに命じられた。

10それは、多くの人をいやされたので、病苦に悩む者は皆イエスにさわろうとして、押し寄せてきたからである。

11また、けがれた霊どもはイエスを見ることに、みまえにひれ伏し、叫んで、「あなたこそ神の子です」と言った。

12イエスは御自身のことを人にあらわさないようにと、彼らをきびしく戒められた。

23ある安息日に、イエスは麦畑の中をとおって行かれた。そのとき弟子たちが、歩きながら穂をつみはじめた。

24すると、パリサイ人たちがイエスに言った、「いったい、彼らはなぜ、安息日にしてはならぬことをするのですか」。

25そこで彼らに言われた、「あなたがたは、ダビデとその供の者たちが食物がなくて飢えたとき、ダビデが何をしたか、まだ読んだことがないのか。

26すなわち、大祭司アビアタルの時、神の家にはいって、祭司たちのほか食べてはならぬ供えのパンを、自分も食べ、また供の者たちにも与えたではないか」。

27また彼らに言われた、「安息日は人のためにあるもので、人が安息日のためにあるのではない。

28それだから、人の子は、安息日にもまた主なのである」。

3

1イエスがまた会堂にはいられると、そこに片手のなえた人がいた。

2人々はイエスを訴えようと思って、安息日にその人をいやされるかどうかをうかがっていた。

3すると、イエスは片手のなえたその人に、「立って、中へ出てきなさい」と言い、

4人々にむかって、「安息日に善を行うのと悪を行うのと、命を救うのと殺すのと、どちらがよいか」と言われた。彼らは黙っていた。

5イエスは怒りを含んで彼らを見まわし、その心のかたくななのを嘆いて、その人に「手を伸ばしなさい」と言われた。そこで手を伸ばすと、その手は元どおりになった。

6パリサイ人たちは出て行って、すぐにヘロデ党の者たちと、なんとかしてイエスを殺そうと相談しはじめた。